

春日丘高等学校 SGH 通信 VOL7

海外研修事前調査（インドネシア・ベトナム）

来年度、SGH のプログラムとしてインドネシアとベトナムへの海外研修を実施することを予定しています。（平成28年度は国際コース2年生の希望者を主対象。）また、海外の高校と提携を結び交流を行っていくことも予定しています。

そこで、中部大学国際関係学部の教授の方々にご協力をいただき、本校教員がインドネシア・ベトナムへの事前調査を行ってきました。

<インドネシア（8月17日～20日）>

1学期の授業でも学んできたインドネシア。ジャワ島にある首都ジャカルタへ行ってきました。ジャカルタの発展を目の前に、教員一同驚きを隠せませんでした。

<「高層ビルが建設ラッシュのジャカルタ市内」>



現地では、はじめに日本大使館にご挨拶をさせていただきました。その後、JETRO や JICA などの国際機関や、現地で活躍する日本企業の清水建設や名古屋の医療法人である偕行会クリニックを訪問し、来年度の訪問に対するご協力をお願いしました。そして、日本語教育に力を入れている Japan Foundation にご紹介いただき、インドネシアを代表する進学校であるプナブール高等学校、南タンゲラン第二高等学校の2校を訪問しました。各校校長に本校の取り組みについて説明し、今後の交流に関して前向きなお返事をいただきました。

<南タンゲラン国立第2高校の生徒たち>



<ベトナム（8月18日～21日）>

近年発展が著しいベトナム首都ハノイへ行ってきました。ベトナムは親日家が多く、日本語を勉強される方も多いため、温かい歓迎を受けました。

現地では WHO や UNICEF などの国際機関やベトナム日本人協力センター（VJCC）、JETRO を訪問し日本との関係についてお聞きすることができました。また、パナソニック㈱の工場を訪問し、ベトナムの現状や CSR（企業の社会的責任）活動についてもお話を伺いました。そして、ベトナムを代表する進学高校であるハノイ国家大学外国語学部附属高等学校、国立ファム・ホン・タイ高等学校を訪問し、各校校長に本校の取り組みについて説明し、今後の交流に関して前向きなお返事をいただきました。

<ファンフォンタイ国立高校の生徒たち>



<ハノイ国家大学外国語学部附属高校の職員の方々>



どちらの国でも、本校の SGH の取り組みに賛同し協力してくださる方々と直接お会いすることができ、有意義な視察となりました。今後は現地の高校や企業、組織と密に連絡を取りながら、SGH の現地プログラムを作っていきたいと考えています。